

平成27年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成28年3月末現在) (NO:1)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
1 土 (1)	H27.04.11 15:05 流出	砂防	バックホウにより河道内の仮設道路の撤去作業中に休憩時間のため現場を離れたところ、バックホウの足元の盛り土材が流出しバックホウが河道内に横転し、燃料が河川へ流出した (物損事故) 公衆災害	・バックホウを安全な場所へ移動させなかった ・バケットを下ろさない状態のまま現場を離れた	・安全対策の徹底 ・安全教育の徹底
2 土 (2)	H27.04.16 21:50 交通事故	道路	舗装工事にあたりタイヤローラ(8t)からコンバインドローラ(3t)に水を移し替えた後、方向転換のため後進中に隣接する店舗前の手すり(ステンレス製)に接触し破損させた (物損事故) 公衆災害	・後進中に十分な後方確認を行っていない	・安全教育の徹底
3 土 (3)	H27.04.21 8:45 立木処理	道路	バックホウで伐倒木を移動しようとバケットで幹を動かした際、枝がしなり木が跳ねて落下し、幹が付近で測量作業(バックホウに背を向けていた状態)していた作業員の足に当たり負傷させた 男 46歳(左足関節脱臼骨折)30日間の入院	・朝のミーティングで作業内容の周知不備 ・監視人を置かず、近接作業を行った。	・作業間の連絡・調整を綿密に行う ・近接作業を行う場合は監視人を置く
4 土 (4)	H27.04.23 15:45 工具・資材	道路	鋼製支保工の建込み作業において、仮置きした支保をジャンボ受け台に受けられなかったため、作業員が支保を建て起こそうとした際に支保が滑り落ち、驚いた拍子に体勢を崩し後方に転倒して負傷した 男 61歳(左胫骨遠位端骨折、左第4中足骨骨折)6週間の加療	・仮置き方法に不備があった重っていた、浮石上に仮置 ・本事故発生時の作業手順が不確立だった	・支保は重ならないよう左右に分けて仮置きする ・ジャンボ受け台に受けるまで立ち入り禁止とする
5 都 (1)	H27.05.25 14:45 転倒	上下水	攪拌機の点検作業中、点検後に点検口を閉める手順を飛ばして作業を行ったため、点検作業中に締めていない点検口に片足をを入れてバランスを崩し、体を支えるためにかばい手をしたところ腕を負傷した 男 41歳(左上腕骨大結節骨折他)3か月間の加療	・作業員の不注意	・安全教育の徹底
6 土 (5)	H27.06.08 11:50 挟み込み	砂防	吹付プラント機内の清掃中、ホース内に内蓋を閉めるための微量のエアが残っていたため内蓋が閉まり、右手親指が挟まれ裂傷した 男 39歳(右母指裂創)2週間の加療	・作業標準書に「機械内へ直接手を入れないこと」とあるものの手順通りの作業が実施されなかった	・清掃時は道具を使用し、直接手を入れないよう周知徹底する
7 土 (6)	H27.06.12 8:50 架空線	維持	剪定した枝をクレーン付きトラックで積み込み作業中、クレーンのブームが架空線に接触し、電柱と架空線を固定している金具を損傷させた (物損事故) 公衆災害	・監視員を配置していない ・管理者への事前連絡未実施 ・現場条件を踏まえた施工計画がなされていない	・選任の監視員を配置する ・管理者への事前連絡の徹底 ・現場条件を踏まえた作業手順の確認実施
8 土 (7)	H27.06.13 16:40 墜落・転落	道路	型枠組立作業において、地表より50cmの鋼管上で型枠用固定金具を取り付けていたところ、左足が滑ってバランスを崩し誤って転落し負傷した 男 71歳(外傷性頸髄損傷、四肢麻痺)3か月間の加療	・高さが50cmと低いことと、固定金具が軽量であるため危険性はないと過信した	・安全教育の徹底

平成27年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成28年3月末現在) (NO:2)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
9 土 (8)	H27.06.16 10:20 挟み込み	河川	バックホウのバケットから作業員がコンクリートを掻き出し作業中、バックホウ運転手が作業状況と作業員の位置を確認するため立ち上がった後、着座した際に作業スポンのバケットにバックホウの操作レバーが引っ掛かり、バケットが誤作動してバケットと床掘面に作業員が挟まれた 男 35歳 死亡	・安全装置を使用しないまま誘導員の合図によらず、自らの判断で目視確認した ・バケットを順向きに変更した	・安全装置の使用の徹底と誘導員の指示に従うよう徹底する ・個々の判断で施工方法を変更しないよう施工管理を徹底する
10 林 (1)	H27.06.22 16:00 飛来物・落下物	治山	吊り下げ式バックホウを山腹頭頂部まで上げるため、山腹頭頂部から設置している仮ワイヤーとバックホウ搭載の主ワイヤーを接続する作業中、斜面左上の林地部から落石があり、作業員に当たり負傷した 男 54歳(左上腕骨骨折、左肋骨骨折)3週間の入院加療	・周囲の森林内の浮石の点検や除去は行わなかった ・監視員1名では斜面全体の確認が困難であった	・周囲の森林内の浮石等の点検や除去を徹底する ・監視員を固定1名、追従1名を配置する
11 土 (9)	H27.07.14 11:30 墜落・転落	維持	小型擁壁天端においてクレーンの誘導作業をしていた作業員が作業が終了したため、安全帯を外して降りようと方向転換した際、足を踏み外して1.2m程下へ転落し負傷した 男 52歳(左胸部挫滅創)約8日間の入院加療	・作業員の不注意	・安全教育の徹底
12 農 (1)	H27.07.21 16:00 架空線	その他	仮設道路の設置作業にあたり盛土に使用する土砂の運搬作業中、バックホウにて土砂をダンプトラックに積込もうとしたところ、バックホウのアームが架空線に接触し損傷させた (物損事故) 公衆災害	・運転手が安全監視員の指示を見落としてしまった	・笛、手旗で運転者の注意を喚起し指図する
13 林 (2)	H27.07.22 16:00 飛来物・落下物	治山	法切工の施工中、切り崩した岩塊が斜面下方に設置した仮設防護柵を壊して下方の木造建物に到達し、屋根に約40cm大の穴を開けた (物損事故) 公衆災害	・仮設防護柵が機能を果たせなかった	・仮設防護柵の矢板を丸太に取り換える ・仮設防護柵の高さを2m嵩上げする
14 農 (2)	H27.07.30 14:00 架空線	農地	小型転圧機(60kg)をバックホウのバケット内に入れて1.2m上方の作業場所へ持ち上げて降ろした後、バックホウを旋回した際に架空線に接触し切断させた (物損事故) 公衆災害	・監視員が作業終了まで確実に誘導しなかった ・防護管、目印設置の安全対策が不十分	・監視員は旗、笛により最後まで確実に合図を送る ・防護管、目印を設置
15 土 (10)	H27.08.04 10:50 挟み込み	維持	セメントミルク廃材処理において大型土のうを水槽から外すため、重機にて大型土のうを吊り上げて水槽から外していたところ、大型土のうと水槽の間に右手小指が挟まれ負傷した 男 47歳(右小指切断、右小指挫滅創)3か月間の加療	・本人の不注意	・安全教育の徹底
16 土 (11)	H27.08.19 10:10 立木処理	維持	草木の伐採を行い、トラックに積込むための玉切り作業中、作業員が伐採した約4.0mの立木をチェーンソーにて1.0m程度に切断していたところ、木が切れると同時に刃先が左足膝に当たり負傷した 男 63歳(左膝部挫創)2週間の加療	・作業員がチェーンソーを片手で操作していた ・形式だけの安全管理になっていた	・安全教育の徹底

平成27年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成28年3月末現在) (NO:3)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
17 土 (12)	H27.08.19 10:30 工具・資材	道路	被災者が吊荷を押さえて周囲の障害物と接触しないよう誘導及び吊荷の方向転換作業をしていた際、吊荷が被災者側へ振れたため、吊荷の下側角部分が右足の甲に当たり負傷した 男 18歳 (右足部打撲) 1週間の加療	・本人の不注意	・安全教育の徹底
18 土 (13)	H27.08.28 15:00 工具・資材	砂防	じゃかごを設置作業中、吸出し防止材に木杭打ち込み用の穴をあけるため、左手で金網を押さえて右手のカッターナイフで切断していたところ、切断の勢いで左掌の親指付け根部分を負傷した 男 45歳 (左手切創) 2週間の加療	・本人の不注意	・安全教育の徹底
19 農 (3)	H27.09.05 7:50 転倒	農地	仮設道路上で重機への給油作業中、1台目の給油が完了し、給油ホースを格納中に給油作業員が転倒・転落し1m下の集水桝に頭部を強打し負傷した 男 42歳 (外傷性くも膜下出血) 5日間の入院加療	・給油場所の安全確認をしていなかった ・危険個所で給油を行った	・安全教育の徹底 ・安全ロープで囲う
20 土 (14)	H27.09.05 13:05 架空線	維持	道路維持修繕においてグレーチング撤去・再設置作業後、クレーン付トラック(3t)を運転手がブームの格納を忘れたまま移動したところ、道路を横断している架空線に接触し、架空線器具を損傷させた(物損事故) 公衆災害	・現場監督が作業完了の確認を行っていなかった ・運転手がブーム格納の確認を行っていなかった	・完了確認の徹底 ・運転席に格納チェックを促す注意喚起を添付
21 土 (15)	H27.09.07 9:50 埋設物	維持	歩道と車道を分離するコンクリート地覆をコンクリートカッターで切断したところ、地覆内に設置されていた信号ケーブルを切断させた(物損事故) 公衆災害	・埋設管の事前確認を怠った	・事前確認の徹底
22 都 (2)	H27.09.14 11:45 埋設物	建築	池を取り壊し、コンクリート殻をバックホウを使用して集積する作業中、管理者より電話回線が不通になっているという通報を受け、急きょ取壊した範囲を調査したところ、取壊したコンクリート殻の下から切断された電線2本を発見した(物損事故) 公衆災害	・管理図面に明記されている電線を見落としていた ・現地調査を怠った	・チェック体制の強化 ・安全対策の徹底
23 農 (4)	H27.09.15 15:30 飛来物・落下物	農地	排水路敷設工事において、土砂の敷均し作業中、地山の転石(約30cm四角、長さ60cm)が、70cm上方から斜面を転がり、作業員の左足に接触し負傷した 男 31歳(左腓骨骨折) 2か月間の安静加療	・転石位置が低かったことから、転石の安定性(密着度合等)の確認が不十分だった	・浮石だけでなく現況斜面の石についても安定性の確認を実施する
24 土 (16)	H27.09.16 14:00 立木処理	維持	枝を剪定していたところ、剪定した枝が下に落ちそうになったため右手で持った際に根元側の枝が跳ね上がり、チェーンソーに接触しその勢いで右腕にチェーンソーの刃が当たり負傷した 男 41歳(右腕上腕二頭筋断裂他) 1週間の入院	・剪定する枝の直下に引き込み線があるにも関わらず、事前に対策を講じていなかった	・事前にゴンドラへ枝を縛り付けて落ちないようにする ・ゴンドラに2名搭乗し、1名は枝を支える

平成27年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成28年3月末現在) (NO:4)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
25 林 (3)	H27.10.02 15:30 転倒	治山	測量作業中、作業員が高さ0.7～0.8m程度の流路河床部へ降りるため流路ブロック積天端に腰を下ろして河床に足を着けて立ち上がった際着地点河床の石が動いたため左足首をひねり負傷した 男 51歳(左足関節外果骨折)2か月通院治療	・本人の不注意	・安全教育の徹底
26 林 (4)	H27.10.07 17:30 交通事故	治山	作業員がトラックに資材を乗せ、現場から会社へ帰る際に現場下方にある県道の退避場に車を止めて明日の予定について打ち合わせ後、車を出そうとした際に前に車があったためバックさせたところ、県道の街灯に荷台が接触し街灯支柱を破損させた(物損事故) 公衆災害	・本人の不注意	・安全教育の徹底
27 土 (17)	H27.10.09 17:10 その他	砂防	既設設備の点検のため、向かう途中に繁茂していた背丈約2mのクマガザサの伐採作業(手刈)において、繁茂が著しく作業に没頭していたところ、約10匹の蜂に両手の甲及び左臀部を7箇所刺され負傷した 男 64歳(蜂刺症)4日間の加療	・目視による事前確認で蜂の飛来や巣を発見できなかった ・当日作業の終了段階で注意力が低下していた	・安全教育の徹底
28 農 (5)	H27.10.16 16:00 交通事故	農地	コンクリート殻を処分場へ運搬するためダンプトラックを現場内にバックで進入させようとしていた際、道路上に駐車していたバイクに気づかず、接触し破損させた(物損事故) 公衆災害	・全面通行止規制(看板、カラーコーン)していたが、交通誘導員を配置していなかった	・交通誘導員を配置する
29 林 (5)	H27.10.27 10:00 工具・資材	治山	型枠組立作業において、縦積木の上余剰分を切断する際に、作業員がディスクグラインダーに丸鋸を装着し切断していたところ、グラインダーがキックバックにより跳ね上がり左前腕部に接触し負傷した 男 44歳(左前腕部切創)1週間の治療	・本人の不注意(工具の用途外使用)	・安全教育の徹底 ・工具使用方法の点検の徹底
30 土 (18)	H27.11.2 11:00 転倒	維持	モノレール機材の撤去作業中に、稼働していたモノレールの荷台部材の一部が破損し、荷台の荷物が荷崩れを起こし、作業員がモノレールを止めようとしたところ足を滑らせ手を付いた際に左手を負傷した 男 42歳(左手挫創、左手5指MP関節脱臼)全治1か月	・本人の不注意 ・事前点検において部材劣化を見落としていた	・安全教育の徹底 ・点検項目に部材劣化項目を追加する
31 土 (19)	H27.11.4 8:50 草刈・除草	河川	土砂掘削の準備工として肩掛け式草刈機で作業中、段差のある場所で右足を踏み外し、左足が上段に残った状態のところへ草刈り機の刃があたり負傷した 男 64歳(左第2趾挫傷他)全治6週間	・本人の不注意	・安全教育の徹底 ・安全衛生教育受講者が作業に従事する
32 土 (20)	H27.11.4 8:50 工具・資材	維持	歩道橋に単管足場を掛ける作業中、4mの単管パイプを一時的に高欄上に通路を塞ぐ状態で仮置きしていたところ、歩行者が単管パイプに気づかず接触し負傷した(人身事故) 公衆災害	・歩行者への危険を認識していながら通行止め措置をせず作業を行った	・歩道橋上で作業する場合は通行止めとする

平成27年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成28年3月末現在) (NO:5)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
33 土 (21)	H27.11.10 12:00 墜落・転落	道路	函渠工の開口部に第3者が落ちないように土留め矢板に転落防止ネットを取付中に、ネットが矢板に引っかかったため、作業員が切梁のH鋼に乗ってネットを外そうとしたところ、バランスを崩して転落し負傷した 男 64歳(頭部顔面打撲他)2日間の安静加療	・本人の不注意	・安全教育の徹底 ・作業時には親綱を設置し安全帯を使用する
34 土 (22)	H27.11.10 16:00 交通事故	砂防	残土の運搬経路を路面清掃していた散水車が、対向車が来たため散水を止めて一旦停止させ、再開しようとバックさせたところ、後続の散水車を追い越そうとした一般車両と接触し損傷させた (物損事故) 公衆災害	・本人の不注意	・安全教育の徹底
35 林 (6)	H27.11.11 8:40 墜落・転落	治山	型枠・足場撤去作業中に高さ7mの足場から作業員が転落し負傷した 男 68歳(中心性脊髄損傷他)3か月の加療	・転落防止措置を講じていなかった(親綱、安全帯) ・作業手順を徹底していなかった	・転落防止措置の徹底 ・作業手順の徹底
36 土 (23)	H27.11.12 13:00 埋設物	砂防	ボーリング調査中に、GL-0.7m程度まで掘削してコアチューブを引き上げたところ、掘削孔より水が噴き出したため確認したところ、地中GL-0.25m程度に存在したVU管(φ200)を損傷させたことが判明 (物損事故) 公衆災害	・既知の管以外の情報提供や調査指示をしていなかった ・聞き取り調査や試掘等の確認作業を怠った	・情報提供や確認指示の徹底 ・聞き取り調査や試掘等安全対策の徹底
37 都 (3)	H27.11.16 17:00 転倒	建築	作業員が作業後の片付けで道板を運んでいたところ、足元がふらつき膝から転倒したところ、転倒先に軽量鉄骨下地材があり右膝を負傷した 男 25歳(右膝切創)1週間の加療	・本人の不注意	・安全教育の徹底
38 土 (24)	H27.11.19 17:05 飛来物・落下物	河川	選任ではない別の重機運転手がバックホウの照明で明かりをとろうと動かしたところ、アームとバケットの接続が不十分だったためバケットが外れ、下方で作業していた作業員2名に当たり負傷した 男 22歳(頸椎捻挫他)4週間、男 20歳(左手関節打撲傷他)10日	・接続が不十分な状態が明らかになっていなかった ・重機選任の運転手ではない者が重機を運転した	・固定されていないことが明らかかな状態を徹底する ・他者が運転できないよう鍵の管理を徹底する
39 土 (25)	H27.11.23 13:30 転倒	維持	道路上に設置した仮排水パイプを乗り越えるための渡り通路(H=0.8m、W=0.75m)を設置していたところ、通行中の自転車がふらついて転倒し、仮設通路を踏み外して用水路内に転落し負傷した (人身事故) 公衆災害	・転落が想定される箇所に固定柵とせず移動柵としていた ・自転車の通行を想定せず、歩行者のみの対策としていた	・転落が想定される箇所に高さ1.6mのバリケードを設置 ・幅員を広げて段差を低くし、注意喚起看板を設置
40 土 (26)	H27.11.30 17:00 挟み込み	砂防	バックホウにて水中ポンプを吊った状態で移動中、作業員が固定用ロープを拾おうと下へ降りる際にホースをワイヤーで連結していたコンクリート塊が動きだし、水中ポンプと落下したコンクリート塊の間に挟まれ負傷した 男 59歳(骨盤骨折他)全治一か月	・コンクリート塊が不安定だった ・コンクリート塊は重く動かないだろうと判断し固定を解除せず移動させた	・ロープ固定は岩盤に削孔して鉄筋を設置する ・移動方法を作業手順書に定め周知させる

平成27年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成28年3月末現在) (NO:6)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
41 土 (27)	H27.12.02 9:45 転倒	道路	仮設材作業撤去において支持杭の切断後、休憩に入ろうと作業を中止し、緩勾配法面で安全帯を外して横方向へ移動しようとしたところ、つまずき法面を滑り落ちて負傷した 男 52歳(顔面裂創)2日間の休養	・本人の不注意	・安全教育の徹底 ・作業手順を徹底する
42 土 (28)	H27.12.02 11:15 墜落・転落	砂防	足場の移設作業を2名で行っており、下段の作業員から上段の作業員へ足場の受け渡し作業中に、上段の作業員が転落し負傷した 男 75歳(頸椎骨折、上下肢麻痺、呼吸筋の麻痺(人工呼吸器))	・安全帯を使用しなかった ・必要な特別教育のない者を従事させた ・作業主任の監督の不行届き	・安全帯着用の徹底 ・必要な特別教育を受けた者を従事させる ・安全状況の監視を徹底する
43 土 (29)	H28.01.05 10:45 飛来物・落下物	砂防	土砂を工事箇所へ運ぶためダンプトラックにより運搬していたところ飛び石によりすれ違った対向車のフロントガラスを損傷させた (物損事故) 公衆災害	・本人の不注意により土砂積載時に落下に起因する物が無いか確認していなかった	・安全教育の徹底
44 土 (30)	H28.01.06 8:15 挟み込み	砂防	ダンプトラック後部のあおりを取り外すためキャッチの受け金具2箇所を同時に押して外そうとしたところ、片方が外れず、支点となつてあおりが跳ね上がり、あおり側面に添えていた指が挟まれ負傷した 男 50歳(右母指末節骨開放粉碎骨折)3か月間の加療	・あおりを持ち上げて外す作業を、持ち上げず自然落下させる方法を選択した	・安全教育の徹底
45 土 (31)	H28.01.06 15:30 埋設物	河川	水路の移設のため別工事で下水道管を移設し、その敷設位置を基に水路移設のための仮設鋼矢板を施工したところ、実際の管の位置との相違があり下水道管を破損させた (物損事故) 公衆災害	・管位置の正確な管理不十分 ・管施工時に位置の確認をせず、提供された位置情報をそのまま鵜呑みにした	・図面や座標管理により正確な位置管理の徹底 ・施工時の立ち会い等位置の把握を徹底する
46 土 (32)	H28.01.11 14:30 墜落・転落	維持	橋梁縁端拡幅工の型枠を設置しようとしたところ、吊り足場の単管パイプが干渉するため、単管パイプを移設作業中、単管パイプを結合する金具(クランプ)が外れて足場板が傾き、作業員が落下し負傷した 男 52歳(左膝打撲、捻挫、左足関節打撲)10日間の加療	・単管パイプの結合金具が緩んでいた ・転位しない対策と安全帯着用を行っていなかった	・作業開始前点検を徹底する ・転位対策と安全帯着用を徹底する
47 土 (33)	H28.01.23 10:00 埋設物	道路	マンホール付近において、事前に把握していた周辺の水道管がマンホールを避けて車道側にあるだろうと判断し、歩道側の既設集水桝の撤去をバックホウで行っていたところ、埋設されていた水道管を損傷させた (物損事故) 公衆災害	・埋設位置の事前確認によらず自ら埋設位置を判断した	・試掘等による埋設位置の事前確認を徹底する
48 土 (34)	H28.2.2 14:00 建設機械	砂防	作業員が高圧洗浄機のエンジンを始動しようと、スターターを引っ張った際にコンプレッションバルブ(減圧弁)を作動した状態にしていなかったため、スターターを引きぬくことができず、引っ張った衝撃で右手を負傷した 男 21歳(右環指末節骨骨折)1か月間の加療	・高圧洗浄機の作業手順を十分に理解していなかった	・安全教育の徹底

平成27年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成28年3月末現在) (NO:7)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
49 土 (35)	H28.2.16 9:15 埋設物	砂防	堤脚水路を設置するため、既設構造物(空洞ブロック)の取り壊しをバックホウ(0.4m ³)にて施工中、深さ30cmのところに埋設してあった既設水道管を損傷させた (物損事故) 公衆災害	・埋設物調査の指示があったにも関わらず調査を怠った	・埋設物管理者への事前確認や立ち会いの実施を徹底する
50 土 (36)	H28.2.23 15:30 工具・資材	砂防	じゃかごのズレ止め用の鉄筋を打ち込む作業中、背面に落石防護柵の支柱があり、ハンマーを大きく振れないため、ハンマーの柄を短く持って叩き込もうとしたところ、的が外れてハンマーを持った右手が鉄筋に当たり負傷した 男36歳(右示指末節骨折)約5週間の加療	・本人の不注意	・安全教育の徹底
51 土 (37)	H28.2.24 10:30 工具・資材	砂防	作業員がプレハブ水路のパネル(52kg/枚)を裏返してパネルの向きを揃えようとパネルを起こそうとした際、慎重に行っていなかったため、パネルが勢い余って倒れ、作業員の左足甲に当たり負傷した 男22歳(左足背部打撲)約1週間の加療	・単純作業で慣れもあったため、慎重にパネルを起こさなかった	・安全教育の徹底
52 土 (38)	H28.2.29 14:10 架空線	河川	手押しローラー(500kg)をクレーン付きバックホウ(0.7m ³)にてダンプ(2t)に積込後、吊り下げ用の金具が外れていないことに気づき、吊り金具を外すため、アームを曲げて監視員がいるローラーの箇所へ再度アームを旋回させたところ、架空線に接触し損傷させた (物損事故) 公衆災害	・重機オペは吊り金具を外すことに注意がそれてしまった ・監視員は作業が終了したため目を離してしまった	・安全教育の徹底 ・架空線等上空施設の防止マニュアル(案)の徹底
53 土 (39)	H28.3.14 9:20 架空線	河川	バックホウをトラック荷台に載せようとした際にキャビン部分が架空線に引っかかって弛ませ、付近を通過した別のトラックのコンテナの角に架空線が引っかかって架空線を切断し、支柱を破損させた (物損事故) 公衆災害	・架空線化で積み込み作業を行った ・交通誘導の際、安易に車両を通過させた	・安全教育の徹底 ・架空線化での作業を回避するか、できなければ架空線に目印等をつけ明示する
54 土 (40)	H28.3.22 13:50 飛来物・落下物	維持管理	転石を静的破砕材で小割作業していたところ、静的破砕材を転石に充填してしばらくして膨張した薬剤が周辺に飛び散り、付近で削岩機の後片付けをしていた作業員の目に入り負傷した 男32歳(角膜びらん、角膜炎)1週間経過観察	・養生シートの設置確認が不十分であった ・保護具を着用せず静的破砕作業範囲に進入した	・安全対策の徹底 ・養生シートのずれ止めを行う ・養生シート設置状況を十分に確認する
55 林 (7)	H28.3.30 11:00 墜落・転落	治山	治山仮設工事の準備中、工事用道路の路肩(谷側)で工事車輛の通過を誘導していた作業員が、工事車輛が通過した後、足元に置いてあった梯子に足を引っ掛け、梯子もろとも8.0m下方の谷へ滑落し負傷。 男67歳(アキレス腱断裂、左膝骨折)3か月の安静加療	・誘導場所、退避所の決定・周知がされていない ・資材の整理整頓が不十分 ・路肩等危険個所が不明示	・誘導場所、退避所の周知 ・路肩等、危険個所の明示